令和７年７月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和７年７月　１日（木）
２．開 催 日 時　令和７年７月１６日（水）　１３時３０分～１５時２５分
３．開 催 場 所　組合事務所
４．理 事 総 数　２３人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１９人（本人出席１名、Web 会議システムによる出席１８人）
７．出席監事数　３人（Web 会議システムによる出席　３人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、南　直樹、玉木 寛之、川村 道夫、安室 篤志、池田 隆久、伊藤 雄平、二瓶　啓、上島　健、川崎 一郎、秋山 正稔、田村 大輔、冨居 博治、岩本 将和、横山 聡洋、小泉 貴久、秦　研二、藤田 亮則、後藤 章洋

９．出席監事の氏名

熊木　宏、北田 智也、山口 直延

１０．出席組合員の氏名

齊藤 基樹

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　新規加入組合員について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、８月１日付での加入申込のあった新規加入組合員１社について説明があり、８月１日付けで組合員数８０社、賛助会員数４３社、計１２３社になる旨の説明があった。

嶋崎議長は、組合員の新規加入について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

会社名　株式会社萩原熱処理工業所　（加入年月日：令和７年８月１日）
代表取締役　渡邊 弘子 氏
住　所　〒４１６－０９４６ 静岡県富士市五貫島１３３１
TEL：０５４５－６３－４３１３、FAX：０５４５－６３－７８０９

第２号議案　就業規則について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、４月、５月の理事会において定年の延長について提案し、正副理事長で検討することになっていたことの報告があった。正副理事長で検討した就業規則改訂案については、現行の就業規則の定年は６０歳を６５歳に引き上げ、さらに７０歳まで働ける環境を整えることとし、就業規則第６条（定年）の２案の改訂案について資料に基づき説明があった。内容については、A 案：（一社）日本金属熱処理工業会を参考、B 案：厚生労働省モデルを参考にしたことと第２項に再雇用の労働条件を明記し、「再雇用の労働条件に合意できない場合は再雇用を行わない」という内容を付加したもの。正副理事長で検討した結果、A 案に第２項を付加した改訂案となった。

嶋崎議長から、第２項の内容について事務局に確認後、「再雇用の労働条件に合意できない場合は再雇用を行わない」という点を明記した内容で A 案に付加する改訂案とすることの説明があった。

嶋崎議長は、改訂案について意見を求めたが、意見がなかったので、改訂案について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第３議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、６月２６日に開催された令和７年度第１回青年部会について、議事録に基づき説明があった。

主な内容については、

①関東経済産業局製造産業課の澤原宜課長がオブザーバー参加し、「素形材産業ビジョン」や「中小企業支援施策」について情報提供があった。

②令和７年度の活動計画については、年３回の開催とし、４つの柱（ア．講演会・セミナーの開催、イ．熱処理業界のPR、ウ．関東経済産業局との連携、エ．メンバーからの提案）について継続して取組むこと。

③「出前授業」については、千葉県立千葉工業高等学校との連携を模索中で３年生の課題研究と企業訪問への協力を打診し、学校側からの回答を待っている。出前授業の実施方法は、学校を訪問して実施と組合員企業での実施を考えており、組合員企業実施の方がリクルート効果が高いと考えている。メンバーが経験を積みながら拡大することを考えている。スライド資料の見直しを各委員会グループで行うことになっている。

④「組合まつり」については、１０月２９日（水）、３０日（木）、東京国際フォーラムで開催予定、４回目の出展について理事会で承認を得たいこと。会場で「出前授業」ピアノ線を使った実習の実施を検討したが、条件が厳しいため、ピアノ線のサンプルを用意して来場者に体験してもらうこととなる。

⑤ 青年部会の名称変更について検討することとなった。

嶋崎議長から、「出前授業」からリクルートに繋がるように高校生に熱処理業界の認知拡大が必要で、メンバーが経験を積みながら有効な形に構築することが必要と指摘があった。「組合まつり」も熱処理業界の認知と人材確保の観点から重要なイベントであると述べられた。

横山理事（副部会長）から、千葉工業高等学校では熱処理の授業を行っているので、スライド資料を高度にすることが必要と提案があった。西部金属熱処理工業協同組合では、スライド資料を工業高校と一般と分けている旨の説明があった。

嶋崎議長は、青年部会の活動状況と「組合まつり」への出展に関して議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　東京都中小企業団体中央会創立７０周年記念東京都知事感謝状並びに令和７年度会長表彰候補者推薦について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事は、東京都中央会創立７０周年記念東京都知事感謝状候補者の推薦基準の概要を資料に基づき説明し、団体役員（組合功労役員）として南副理事長が該当することを報告した。

続いて安室専務理事は、東京都中央会表彰規程の推薦基準を朗読したのち、組合功労者の要件に伊藤理事が該当することを報告した。

審議の結果、嶋崎議長より次のとおり推薦することを議場に諮ったところ、全員一致で可決・決定した。

創立７０周年記念東京都知事感謝状　団体役員（組合功労役員）　南　　直樹 氏

令和７年度会長表彰 組合功労者　伊藤 雄平 氏

第５号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、６月１３日開催の第１回総務委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①新体制について（担当理事の変更:川村理事から池田理事､委員の増員について)､②令和７年度の事業計画について(SDGsおよびカーボンニュートラルに関すること、人手不足、年４回開催）、③組合 HP について（総会終了に伴う更新作業、アクセスの分析について等）、④その他（（一社）日本金属熱処理工業会総務委員会報告、外国人技能実習制度評価試験状況、情報発信の取組み、自社 HP のリニューアル等)

熊木監事（総務委員長）から、総務委員会の委員数が少ないことから意見が偏ることを懸念していると説明があり、理事及び監事に派遣について呼びかけがあった。

嶋崎議長から、SDGs、カーボンニュートラル、人手不足は大事なことと総務委員の増員については必要だと述べられ、地味な活動だが重要な委員会なので、アンケートの実施について提案があった。

池田理事から、アンケートの実施について賛同すると述べられた。

玉木副理事長から、コンパクトな体制には利点もあるが、今後の活動を考えると委員を増やす方向が望ましいと考えている。他の委員会も含めて委員追加のルールづくりが必要と考え、アンケートを実施したいと述べられた。

続いて安室専務理事から、６月１９日開催の第１回 BCP 推進 WG について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①サブリーダーについて、高崎前サブリーダーが部署異動したため、武藤工業㈱の松川氏が新たに就任したことと各メンバーに委嘱状を送ったこと。②メンバーへのアンケートについて（２０社で実績を積むための情報共有を目的に、BCP に関するアンケートを実施していること。内容は BCP 方針、リスク想定、復旧時間、安否確認等で提出期限は今週７月１８日（金）まで。）、③初動対応について（従来のフローチャートが詳細なため、玉木副理事長が簡易版を作成。現在、ブラッシュアップをし、メンバーの意見を反映して分かりやすいものに更新予定。）、④令和７年度の活動内容について（２０社で実績を積み上げて全体に拡大できるようにする。関東経済産業局認定の「事業継続力強化計画」が１２月で期間終了になるため、更新申請を検討する。年４回の開催、次回８月２０日開催予定、防災体験施設「そなエリア東京」での対面開催も予定。）

玉木副理事長から、代替生産などのフォローアップのためにWG内で仕組み構築を検討していることとBCPや初動対応のフローチャートを一般組合員にも使えるようにリニューアルを検討していることと保有部品のリスト化や協定書の整備も並行して進めていきたいと説明があった。続けて、7月8日の（一社）日本金属熱処理工業会の総務委員会でBCPが議題に取り上げられ、被災経験のある川村副理事長（松山技研㈱）とTONEZ社のBCP事例紹介があり、次回は、自身と中部金属熱処理協同組合の桜井氏が報告することになっていることと内閣府主催の危機管理産業展を視察していたが、今回は趣向を変えて「そなエリア東京」を視察予定であることの説明があった。

嶋崎議長から、フローチャート（Excel）と簡易版（PowerPoint）の配布について質問があり、玉木副理事長から、今月中には配布可能であることとブラッシュアップ中の資料はWG内での共有用で、組合員には配布予定がないことの説明があった。

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、7月9日に開催した技術・品質合同委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①技能検定試験対策講習会（６月２８日、２９日）の実施状況の報告（講師アンケート結果：対面とオンラインでの受講者の反応の差異、テキスト内容の重複の指摘）、②中級熱処理塾（７月１９日）について（１１社１４名、対面１０名、オンライン４名、参加人数が少ない場合に隔年開催も視野に検討する。）、③今後の活動計画について（１．業種別交流会（９月１０日、東京都立産業技術研究センター、２．初級熱処理塾（９月２５日、２６日から毎週木金で５週、１０日間、初級熱処理塾は少人数でも毎年開催を継続する。スポット受講制度を導入し、テキストの無い受講者へのテキストの配布について正副理事長の判断を仰ぐこと、３．実践型熱処理塾（来年３月開催予定）、４．ISO内部監査員養成研修会（アンケートで参加希望２０名以上があり、１１月にISO９００１と１４００１を開催予定、５．工場見学会（賛助会員の㈱サンコーマテリアル社の工場見学会を１１月１４日に開催予定。）、６．第９回品質活動発表会・顧客監査対応意見交換会（来年２月予定、テーマについて次回合同委員会で検討）、④（一社）日本金属熱処理工業会について（外国人技能実習制度終了と育成就労制度への移行について）、⑤東京都の技能検定試験の実技試験について報告。

藤田理事（技術委員長）から、中級熱処理塾は、初級や受験対策講習会の開催時期が変わったため、初級熱処理塾終了後にアンケートを実施し、すべての講習会の内容と時期を見直す予定であることと初級熱処理塾のテキストについては、販売目的ではなく、未所有の参加者への配布のために金額の設定をお願いしたいと述べられた。

嶋崎議長から、参加人員が少ないことから中級熱処理塾の位置づけの見直しが必要で、教育体系の中で段階的な育成が重要であることと受験対策講習会との重複もあり、今後内容整理が必要と述べられた。

川村副理事長から、中級熱処理塾の内容が良く分からないが、初級熱処理塾と重複しているのではないか、もっと各論的なことを行った方が良いのではないかと述べられた。

上島理事から、中級熱処理塾の対象が不明確である点と、企業側の人材状況によって送り出せない事情があるのではないかと述べられた。

横山理事から、中級熱処理塾の内容は一般熱処理に限定していることと受講対象は２級取得者を想定していること。初級熱処理塾との違いは深掘りの程度にあり、高周波や浸炭に関しては、今後テキスト整備が必要であると説明があった。

藤田理事（技術委員長）から、一般熱処理に特化した内容で、現場寄りの技術例を加えた講義をしていることの説明があった。

嶋崎議長から、中級熱処理塾に高周波や浸炭を追加するなど、魅力ある内容へ再構築の必要があると述べられた。

嶋崎議長から、未所有の参加者へのテキストの販売ではなく有償提供（3,５００～５,０００円）について副理事長に意見が求められた。

玉木副理事長から、テキストは、あくまで講習会とセットが基本で単独販売は原則避けるが、柔軟な対応も必要なので、未所有の参加に限定して少々値段を上げて提供は、止むを得ないと述べられた。

南副理事長から、人材難のため参加者が集まらない現状に理解を示し、テキスト販売はやむを得ないと思う。将来的には、中級熱処理塾・実践型熱処理塾への参加促進も視野に入れて、５,０００で良いと述べられた。

川村副理事長から、テキストの販売自体には賛成で、価格は高めで良いと述べられた。

嶋崎議長から、テキストを未所有の参加者には、５,０００円で提供することの提案があった。

藤田理事（技術委員長）と田村理事から、テキスト未所有の参加者対象であって、テキストの単独販売は意図しておらず、講習会とセットであるべきと意見があり、外部からの問い合わせに対して明確な説明が必要と説明があった。

嶋崎議長から、テキストの有償提供は、講習会参加者のみとする旨述べられた。

続いて安室専務理事から、７月１１日に開催したマーケティング委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①価格交渉サポートセミナーについて（昨年度まで実施していたグループディスカッションを止め、今年度は「講師を招いた形式」に変更､過去２回セミナーにオブザーバー参加していた関東経済産業局 適正取引推進課の係長に相談しようとしたが、異動のため後任の永島係長に相談したところ、下請法改正について３０～４０分の講話が可能との回答を得た。テーマの一つに決定。もう一人講師について東京都中小企業団体中央会に相談し、「DX や AI」に関する提案があり、委員内で興味はあるが、「マーケティング委員会主催で良いのか？」という意見があり、結論として、関東経済産業局の航空宇宙・自動車産業室に「自動車産業の動向」のテーマで打診することになり、これから交渉予定）、②購入品価格調査について（６月２５日に組合員に案内済み、締切は８月２９日（金）、目標回答率６０％、報告時４社、委員には全社回答を要請、月内に組合員に再度案内予定）、③市場動向に関する情報交換について（６月の（一社）日本金属熱処理工業会のマーケティング委員会報告：自動車関係：A 社の影響でやや安定化。ただし、関税問題による不透明感あり、建設機械関係：中国依存から国内回帰の傾向、農業機械関係：インドネシアの農業強化政策により、需要拡大、人材関係：人手不足と高齢化が顕著。企業間で差が出ている、その他：工場隣接地へのマンション建設により騒音問題が発生しているとの雑談あり）、④その他（９月１２日（金）Web 開催予定）

嶋崎議長は、委員会活動について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和７年６、７月の組合員の異動について報告があった。

続いて第４４回日熱会（東部幹事）の参加申込状況について報告があった。

次回理事会については、令和７年９月１９日（金）に対面開催とすることを確認した。

嶋崎議長の指名により、齊藤相談役から、理事会への労いの言葉の後、テキスト通りの内容ではなく、現場で実際に役立つ講義にして欲しいという意見が述べられた。特に、業界内での失敗談をできる限り集め、どのような行動が失敗に繋がるのか、またユーザーからクレームを受ける事例など、具体的な内容を講義に盛り込むことで、より実践的で現場に即した「熱処理塾」としての充実を図るべきとの提案があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、南副理事長より閉会を告げ、散会した。

令和７年７月１６日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　南　直樹　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　川村 道夫　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　池田 隆久　㊞

〃　伊藤 雄平　㊞

〃　二瓶　啓　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　川崎 一郎　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　冨居 博治　㊞

〃　岩本 将和　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

出席理事　小泉 貴久　㊞

〃　秦　研二　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席監事　熊木　宏　㊞

〃　北田 智也　㊞

〃　山口 直延　㊞